※令和４年度以降入学生用

学校番号	110

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書写の授業で学んだことを発展させ、楷書から篆隷行草に至る書体を体験し、筆の特性を使いこなし自己表現としての作品を書くことができるようになることを目指す。
・芸術科書道では用具用材違いによる表現の違い等を学び、自分なりの表現方法で作品を制作し表現に対する理解を深めていく。
・身近に飾れる作品を作ることで書を愛好する心情を育てる。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力をつぎのとおり育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などのについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（２）書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。[知識] ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、あらわしている。[技能]	・書の良さや美しさを感受し意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	書写から書道へ	・書写と芸術科書道 ・用具、用材 ・姿勢、執筆法	a:・用具、用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現、楷書と仮名や行書の調和した線質による表現を身につけている。 b:中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫宇している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字かな交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出各品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書	1、 楷書 ・楷書の成立と変換 ・楷書の用筆法と結構法 ・臨書と鑑賞	a:・楷書の古典の書体や書風と用筆、運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形、構成を生かした表現を身につけている 。 b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形。構成について構想し、工夫している。 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2	漢字の書	2、行書 ・行書の特徴 ・臨書と鑑賞 3、草書 ・草書の特徴 ・臨書と鑑賞 4、隷書 ・隷書の特徴 ・臨書と鑑賞 5、篆書 ・篆書の特徴 ・臨書と鑑賞	a:・各書体の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・各書体のの古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形、構成を生かした表現を身につけている。 b: :各書体の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形。構成について構想し、工夫している。 ・各書体の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、各書体の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・各書体のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	篆刻	･篆刻の用具･用材や落款印の手順について理解する ･篆刻作品の鑑賞	a:落款の意味とその役割を理解している。 ・篆刻の意義と技法について理解している。 b:篆刻の技法を学び、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 ・篆刻の技法を理解し、姓名印を刻す技能を身につけ表している。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、篆刻の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・篆刻のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3	仮名の書	･仮名の成立 ･平仮名単体 ･変体仮名 ･連綿 ･臨書と鑑賞	a:日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ・線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形、構成を生かした表現を身につけている。 b: 仮名の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形。構成について構想し、工夫している。 ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字かな交じりの書	・表現の工夫 ・線質 ・用具用材 ・紙面構成 ・古典に基づく創作	a:・ 用具、用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆、運筆について理解している。 ・線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名や行書の調和した線質による表現を身につけている。 b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫宇している ・創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、漢字かな交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・漢字かな交じりに書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	提出作品 活動の様子 ワークシート	活動の様子 提出作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度